

MAIL MAGAZINE

メールマガジン

冷え込んでも元気な日本企業！

JSC 貿易部ニュース 中国編

あけましておめでとうございます。

皆様、お正月はいかがお過ごしでしたか。

2026年も、中国の現地情報をたくさんお届けしていきたいと思っています。

12月に入り、テレビや新聞では日中関係の冷え込みが取り上げられることが増えていますが、中国の街を見渡すと、少し違った景色が広がっています。

実は今、中国では日本の飲食チェーンが相変わらず、むしろ元気な動きを見せています。

例えば、最近上海市内で日本発の回転寿司チェーン「スシロー」が新たにオープンしました。オープン初日から多くの人が詰めかけ、数百組が列を作り、長い方では15時間待ちという話題もありました。寿司を楽しむために早朝から並ぶ人も多く、その人気の高さがうかがえます。



この盛り上がりは上海だけではありません。北京や広州、蘇州など、中国各地の店舗でも行列ができる光景が日常となっています。現在、スシローは中国本土で70店舗以上を展開しており、回転寿司がすっかり身近な外食の選択肢として定着しつつあります。

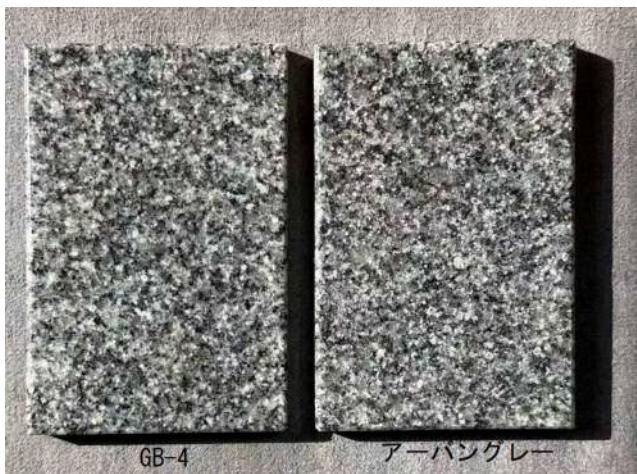
また、日本の飲食チェーンの活躍は寿司だけにとどまりません。牛丼チェーンの「すき家」や「吉野家」、うどんの「丸亀製麺」、そして「サイゼリヤ」など、さまざまなジャンルの日本生まれ飲食チェーンが中国の人たちに親しまれています。



支持されている理由はシンプルです。価格が分かりやすく、味が安定していて、店内が清潔であること。さらに、タブレット注文やちょっとしたゲーム要素など、楽しさをプラスした工夫も若い世代に好評です。政治的なニュースとは関係なく、「おいしくて安心できるお店」として選ばれているのが現状です。

日中関係を巡る話題とは別に、日々の暮らしの中では「食」を通じたつながりが続いています。中国で広がる日本の飲食チェーンの人気は、国と国を近づける力が、今も確かに存在していることを感じさせてくれます。

今月の石種情報



今月のオススメ石種はインドの「G B – 4」です。石質が非常に硬く、経年劣化に強いため、建立時の凜とした姿を長く保つことができます。また、石材の天敵ともいえる水分の吸収率が低いため、シミや変色、寒冷地での凍結によるひび割れなどのトラブルを最小限に抑えることができる、信頼性の高い石種です。

見た目の特徴としては、整った石目が大きな魅力です。色ムラが少なく安定感があるため、石碑から外柵までトータルでコーディネートした際にも、非常にまとまりのある美しい仕上がりとなります。「G B – 4」の落ち着いたグレー系の色調は、派手さを抑えた気品あふれる佇まいを演出し、和型・洋型を問わず、どのようなデザインのお墓にも上品な風格を与えてくれます。



採掘も安定しており、いつでも質の良い石をしっかりとお届けできる体制が整っています。弊社の協力工場に 300 m³ の豊富な在庫を常備しています。

安定供給のメリットは、アーベングレーよりお手頃な価格でご提供というありがたい効果となって表れており、「質にはこだわりたいけど、コストも賢く抑えたい」という方に、ぜひ選んでいただきたいインド産の石種です。

今月も最後までお読みいただき、ありがとうございます。今年一年も引き続きお付き合いのほどよろしくお願ひいたします。

2026 年が、皆様にとって素晴らしい一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

2026/01/01